

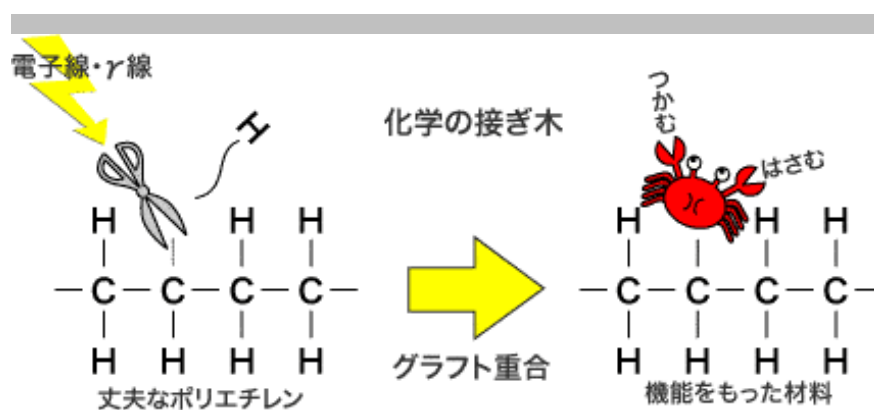
「産学マッチングFS助成制度」に採択された助成件名の概要

NO. 6	ガス除去フィルターの開発とその応用
代表開発者①	野崎 淳夫 東北文化学園大学大学院教授
共同開発者②	佐藤 喜政 東スリーエス(株)代表取締役
コーディネーター	(株)インテリジェント・コスモス研究機構 新田政芳
助成金額	東経連事業化センター：100万円
助成期間	東経連事業化センター：平成19年12月～20年11月
課題概要	<p>空気清浄機などに用いられる有害化学物質（ホルムアルデヒド等）のガス除去フィルターは、既存の活性炭等の場合、除去率が10～20%程度で、40～90日で除去性能が低下する。野崎教授は、活性炭とグラフト重合剤を組み合わせ、除去率が70%を超える技術を開発した。</p> <p>本助成を通じて、除去率をさらに向上させるとともに、化学吸着剤の自動添加装置を組み合わせることにより、ガス除去フィルターの長寿命化にも取り組む。</p>

(参考)

◇グラフト重合 (Graft Polymerization)

放射線（電子線、 γ 線）を照射し、既存の素材にその物理的特性を損なうことなく様々な性質を付与する技術。グラフトとは、“接ぎ木”と呼ばれる園芸手法のこと。



「ねことグラフト重合（科学セミナー）」（丸善）より

NO. 7	電力需要予測サービスに向けた先進的未来予測プログラムの開発
代表開発者①	伊藤 美和子 (有) ザゼンソウ技術開発研究所代表取締役
共同開発者②	伊藤 孝徳 岩手大学農学部研究機関研究員
コーディネーター	牧野 平 岩手大学地域連携推進センター客員教授
助成金額	東経連事業化センター：100万円
助成期間	東経連事業化センター：平成19年12月～20年11月
課題概要	岩手大学では、ザゼンソウの温度制御メカニズムのカオス解析から新たな近未来予測手法を開発した。これを利用し電力需要予測サービスに向けた先進的な予測プログラムの開発に取り組む。電力業界で用いられている既存のニューラルネットワークを用いた解析手法では予測精度が80%程度であるが、本技術を用いて90～95%の精度を目指す。FS助成期間終了後は、株価、為替等の予測にも取り組む。

(参考)

◇ザゼンソウ



我が国の寒冷地に自生するザゼンソウは、氷点下を含む外気温の変動にも関わらずその肉穂花序（にくすいかじょ）の温度を20℃前後に維持することができる“恒温植物”である。岩手大学ではこのような植物界では希な体温調節機能を有するザゼンソウを研究対象として、1998年の春からその制御メカニズムの解明に取り組んでいる。

◇カオス解析

一見、無秩序に見えるデータから法則性を導き出す解析手法。1千点以上のデータがあればカオス判定できる。カオス性が確認できると高い精度で近未来の予測も可能になる。

◇ニューラルネットワーク

認識や記憶、判断といった脳機能に見られるいくつかの特性を計算機上のシミュレーションによって表現することを目指した数学モデル。

(参考1)

東経連事業化センターの概要

1. 組織名 /東経連事業化センター
(正式名称:東北地域新規事業化支援センター)
2. 設立目的/東北地域の競争力強化に向けて、マーケティング支援をはじめとする新産業・新規事業の創出支援に東北地域の産学官の総合力を発揮して取り組み、地域イノベーション・システムの強化を図ること。
3. 活動期間/5年間(平成18年4月～平成23年3月)
4. 組織形態/東北7県の企業支援機関、産学官連携機関、大手企業等を会員とする任意団体
5. 活動期間/5年間(平成18年4月～平成23年3月)
6. 活動経費/年間5千万円程度

以上

「産学マッチングFS助成制度」の概要

1. 目的

本制度は、東経連事業化センターが産学マッチング支援事業で支援する研究シーズ等に対して、「事業化の可能性を的確かつ迅速に評価するための試験等」(FS: フィージビリティ・スタディ)を行い、事業化を推進することを目的とする。本事業を契機に、国等の競争的資金への申請支援も併せて行う。

なお、本事業は、東北地域全体のイノベーション・システム構築に向け、東経連事業化センター、(株)インテリジェント・コスモス研究機構(ICR)、(独)科学技術振興機構(JST)が協力して実施する。

2. 申込対象

大学等の研究者、東北7県の企業

3. 対象となる技術シーズ

事業化のために可能性試験が必要となっている技術シーズとし、以下を条件とする。

- ① 当該シーズの事業化を目指す企業が存在することを基本とする。
- ② 当該シーズを導入することで従来製品に比べての優位性を示すデータが存在すること。
- ③ 事業化に向けて、特許取得済み、または権利化の可能性が高いこと。

4. 選考および結果の通知

評価基準(※)に基づき審査の上、当センター産学マッチング委員会での評価を経て採択有無を決定する。申込は随時受け付け、採択有無については2ヵ月程度で書面にて回答する。

(※) 評価基準

- ① 市場ニーズが高いシーズであること
- ② 事業化の可能性が高いシーズであること
- ③ 新規性・独創性があるシーズであること
- ④ 適切な研究計画で目標達成の可能性が高いこと

5. 助成金額

100~200万円

当センター単独での助成金額は原則100万円が上限とする。ただし、原則100万円を上限に、併せてJSTの助成も受けることができる。

6. 応募手続き

「東経連事業化センターFS助成申込書」を当センターのホームページ(<http://www.nc-t.jp/>)からダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送で提出する。

本申込書をもって併せてJSTからの助成にも申し込むことができる。

以上